

事業者の意見、議会の意見がほとんど反映されていない。現行の長期総合計画の評価もされていない。行政の継続性・発展性の点でゼロベースからの策定は許されない。憲法の本質・自治基本条例の本質がなく、市民自治の実現という目標から逸脱したビジョンであることから反対する」「実行計画の数値目標の設定に行政評価の視点を取り入れ、自治基本条例のもとに実行計画策定に市民参加と協働の場の設定を求め賛成する」といった議論があり、採決の結果、賛成多数で可決しました。

### ほんだ保育園の 民設民営化関連議案を可決

議案「国分寺市立保育所設置条例の一部を改正する条例」は、市立ほんだ保育園を民設民営化するために条例改正するもので、議案「財産の無償譲渡について」は、ほんだ保育園園舎を運営受託法人に無償譲渡するというものです。

文教子ども委員会では「公立園の民営化では計画どおりにコスト削減できていない。市が今やるべきは民営化ではなく待機児解消である。そのためには今回の法人に新園設置を依頼すべきではないか。また、待機児の多い3歳以下の児童だけの保育園を作れないか」「無償譲渡前の保育室の工事で、その後の保育に支障は出ないか」「民営化を公立園の保育士はどう考えて

いるか、また公営園1園になった時、職員配置はどうなるのか」「28年度の引継ぎ作業は順調か、その状況を保護者に説明しているか」「評価の高い恋ヶ窪保育園と同じ法人がほんだ保育園を運営することになるが、人事異動により恋ヶ窪保育園の評価が下がることがないようにしてほしい」等の質疑、意見がありました。

委員会では、質疑の後に「適正な園舎の価格を示さずに議決を求めるのは理解できない」「保育士不足の中、公立園の保育士を手放すことになる。保育士の確保と待機児解消のために公立園を複数残してほしい」「園舎を無償譲渡して市の維持管理から離れることは後年の市の財政に寄与する。恋ヶ窪保育園で実績のある事業者が引継ぐことに期待する」といった賛成・反対の議論がありました。採決の結果、両議案とも可決となり、委員長は可決と決しました。

本会議では、文教子ども委員長からの報告の後、委員会と同様の議論があり、採決の結果、両議案とも賛成多数で可決しました。

### 平成28年度一般会計補正予算を可決

議案「平成28年度一般会計補正予算」は、補正予算審査特別委員会（及川妙子委員長、なおの克副委員長）を設置の上、同委員会に付託し、審査を行いました。

補正予算は第6号から第8号の3つの議案が提案され、その主な内容は、第6号は「ぶんバス『万葉・けやきルート』の12月26日運行開始に伴うバス停設置や転回場整備等に係る経費の特別会計への繰出金の補正増等」、第7号は「職員人件費改定に伴う補正増」、第8号は「学級数増加に伴う教室不足解消のための第九小学校校舎増築工事設計委託料の補正増等」です。

委員会では、ぶんバス新ルート運行に係る補正に「転回場を経由して利用する場合に一旦乗降する必要はあるか」「運行開始までの努力を評価する。初期経費はどの程度要したのか」等の質疑がありました。

また、九小の校舎増築に係る補正は、議案審査前に、文教子ども委員会、公共施設総合管理特別委員会に平成30年8月供用開始での増築の報告があり、教室不足の状況の報告が議会になく、突然の議案提案に「増築判断に至る経過説明」「事前の情報提供を求める」など質疑・意見がありました。それを踏まえ委員会では「校舎増築への国・都の補助はあるのか」「近隣住民に説明すべき」「児童の負担にならない範囲で学区の見直しを検討すべき」等々の質疑がありました。

委員会では第6号と第8号は全員賛成、第7号は賛成多数で可決しました。本会議でも同様の結果となり、可決しました。

## 市政を 問

# 平成28年 第4回定例会 一般質問の質問事項・答弁の要旨

内容は各議員が一定のスペース内で自由にまとめたものを一般質問が行われた順番で掲載しています

## 国分寺市最大の悲劇 「御門訴事件」を探る



自民党国分寺市議団 新海 栄一

新海) 6月に続いて歴史、史跡、文化財等の保存や広報の現状についてお聞きします。

日本で最初に旧石器時代の遺物が発見された熊ノ郷遺跡の説明板の設置はいつになるのか。

教育部長) なるべく発見地に近い場所を予定しており、来年度の設置を目指しています。

新海) 国分寺の歴史上最大の悲劇といわれる「御門訴事件」について経緯をお聞きしたい。

教育部長) 明治2年に当時の品川県知事古賀定雄が社倉政策と言う名の税を貧農にまで課したことから武蔵野新田12カ村が嘆願書を提出。県は要望を受け入れず代表者を拘留した。明治3年正月12カ村民約600名が日本橋の県庁門前で嘆願したが、県庁側はこれを刀、槍、鉄砲、大砲で攻撃、死傷者500名におよび、さらに各村々への追及は熾烈を極め、多くの名主が捕らえられ獄死しています。

新海) 当時の農民の窮状を理解しない官軍のおごり意識が引き起こした悲劇。この事件の詳細を神山平左衛門氏が『むさし野の涙』として書物に残している。この本は文化財審議会指定文化財候補とされているが現状は。

教育部長) 現在所在確認が取れていないので審議会では保留扱いとなっている。

新海) ぜひ確認していただき文化財として後世に御門訴事件の悲劇を伝えてもらいたい。

新海) 明治22年に甲武鉄道の駅の位置で誘致合戦が続いていた。国分寺駅開設の経緯は。

教育部長) 誘致に向けて懸命な努力が続けられ、

最終的には小柳九一郎氏が駅用地すべてを寄付すると言う事で国分寺に決定している。

新海) 国分寺駅南口広場に小柳九一郎顕彰碑があるが市民に知られていない。顕彰碑の前に分かりやすい説明板を付けてほしい。

教育部長) 昭和35年12月に除幕式が行われています。分かりやすい説明板を検討します。

新海) 信時潔氏作曲の駅発車チャイムを要望してかなりの時間が経過した現状は。

政策部長) 現在音源確認の段階に入っている。今年度中を目指して取り組んでいきたい。

## 恋ヶ窪熊野神社前の通り、 早く何とかして！



自民党国分寺市議団 吉田 りゅうじ

▼自転車事故のダメージを軽減する措置

【問】 相変わらず国分寺市内では自転車関与事故が頻発しており重篤な事故も後を絶たない。命を守り、身体へのダメージを軽減する為に、13歳未満の子どもにはヘルメット着用を義務付ける法改正がされたがあまり知られていない。ヘルメットや安全基準を満たした幼児2人同乗用自転車購入費の助成をしてはどうか？

【答】 ヘルメットの装着により被害の軽減を図れる場合もあると認識している。幼児2人同乗用自転車購入費の助成を含め他市の導入事例も参考に調査・研究したい。

【問】 「自転車対策」「交通安全対策」等の充実を図るため、現在の都市建設部ではなく専門の所管課を設けては如何か？

【答】 来年度の機構改革で交通対策課の設置を予定する。

▼国3・4・6号線の進捗状況と沿道環境の変化

【問】 熊野神社前の通りは、西武国分寺線との立体交差部付近は延長が約470m、道路が地下に潜るアンダーバス方式となり、踏切は廃止することで間違いはないか？

【答】 その通りである。東京都において、道路全体の構造や施工方法等の検討を進めており、残る用地取得も東京都と市で進めている。

【問】 沿道は大型マンションの林立、コンビニの開設、民間保育園やぶんバス折り返し場の新設等々大きく様変わりしており、市内を東西に横断する主要幹線道路として大きく期待されるもの。幸いにしてこれまで大きな事故は発生していないが、カーブの続く狭隘路と西武国分寺線踏切近辺は言うまでも無く命の危険さを感じるゾーンである。繰り返しとなるが、日吉町側は完成から既に約40年、本多側も既に30年近くが経過しており、公共事業の為と断腸の思いで

次ページに続く▶

## 2月19日に 「日曜議会」を開催します 身近な、開かれた議会を目指します

平成29年第1回定例会は、2月17日（金）から開会の予定です。

平日に議会の傍聴に来られない市民の方が議会の傍聴していただけるよう日曜日に本会議を開催します。

多くの市民の皆様のご来場をお待ちしております。

日時：2月19日（日）午前9時30分～  
場所：市役所第1庁舎3階 議場  
内容：市長の施政方針に対する代表質問

なお、市長の施政方針は、2月17日（金）午前9時30分から予定しています。